

いえやすのそんぞうとれきだいしょうぐんのいはい
36. 家康の尊像と歴代将軍の位牌

■ 指定日

平成8年4月18日

■ 種別

有形文化財 彫刻・工芸品

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市生野町口銀谷

■ 所有者

東西寺



■ 内容

元和2年(1616)徳川家康の没後、銀山奉行の山川庄兵衛が御霊屋を建て、家康の像と位牌を祀って御宮と称し、さらに東照寺(玉翁院)を別当として堂守に当たらせた。以後歴代の奉行・代官はこれにならって、代々将軍の位牌を安置する習わしとなり、14代将軍までの位牌がおかれた。

昭和27年(1952)の玉翁院廃寺合併時に、これらを東西寺に移設した。